学校番号	3003

令和２年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　新高校の数学Ａ　（数研出版）						
副教材等	改訂版　新高校の数学Ａ対応　ポイントノート数学Ａ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書とプリントを使って学習します。授業では毎回プリントを使用し，板書を写したり問題を解いたりして授業後に提出します。毎回の授業プリントは評価がつけられて次の授業で返却されるので，ノートを準備し，順番に貼って保管してください。
提出物は，授業プリントが毎回の授業ごとに，授業プリントを貼ったノートと問題集が考査前にあります。授業で使用したプリントはノートに貼ってください。しっかりと復習をし，問題集で問題を解いてみてください。
問題集と授業ノートは定期的に提出とし，平常点の材料とします。

２　学習の到達目標

場合の数と確率，図形の性質，整数の性質について理解します。それらの内容について，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらの知識や技能を的確に活用する能力を伸ばすとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学の論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。
評価方法	学習活動への取り組み 課題・提出物の状況 ノート，プリント等	定期考査 提出プリントの内容 提出ノートの内容	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期第一中間	場合の数と確立	集合			○	○	a: 具体的な事象の考察を通して順列や組合せについて考えようとしている。 いろいろな事象の確率について興味や関心をもち，問題を理解し，解決に意欲的に取り組もうとしている。 b: 具体的な事例を通して樹形図や表を用いて，もれなく重複することなく数えたり考えたりすることができる。 確率の考えを全体集合と部分集合の関係のなかで考え，基本的な確率について考察することができる。 c: 順列や組合せの問題解決の過程で，適宜樹形図や表を用いて処理できる。 いろいろな事象について，その確率を求めることができる。 d: 順列や組合せ，その違いについて理解している。 身近な事象をもとにして，不確かな事象の起こる程度を数で表すことについて理解している。	観察等 授業プリント 確認テスト 定期テスト
		集合の要素の個数	○		○			
		和の法則・積の法則	○		○			
		順列		○	○	○		
		組合せ	○	○	○	○		
前期第二中間		事象と確率	○		○	○		
		確率の計算		○	○	○		
		独立な試行と確率	○		○	○		
		条件付き確率			○	○		
前期末	整数の性質	約数と倍数		○	○	○	a: 最大公約数や最小公倍数のいろいろな求め方を考えようとしている。 実生活で使われている 10 進法や 2 進法などに関心をもち，その仕組みを調べようとしてい	観察等 授業プリント 確認テスト 定期テスト
		ユークリッドの互除法	○	○	○			

		2進法	○	○	○		る。 b: ユークリッドの互除法について，図などと関連付けながら考えることができる。 実数を分類し，有限小数，循環小数の性質について考えることができる。 c: 最大公約数や最小公倍数を求めることができる。 d: 2 つの整数について，約数や倍数を求める方法を理解している。 有限小数，循環小数の性質を理解している。	
		分数と小数		○		○		
後期中間	図形の性質	図形の基本			○	○	a: 三角形の性質に関心をもち，それを調べようとしている。 円の性質の美しさを味わい，円のいろいろな性質を，関心をもって調べようとしている。 作図に関心をもち，その方法を考えようとしている。 直線や平面の位置関係に関心をもち，それらについて調べようとしている。 正多面体の性質に関心を持ち，それらについて調べようとする。 b: 既習の図形の性質を基にして，三角形や円の性質を考察することができる。 作図の方法を，既習の図形の性質と関連付けて考えることができる。 直線や平面の位置関係を多面的に考えることができる。 c: 三角形や円の性質を利用して，	観察等 授業プリント 確認テスト 定期テスト
		角の二等分線と線分の比			○	○		
		三角形の外心，内心，重心	○	○	○	○		
		円周角の定理			○	○		
		円に内接する四角形	○		○			
		円の接線			○	○		
学年末		方べきの定理		○	○	○		

		2つの円		○	○	○	線分の長さや角の大きさなどを求めることができる。 基本の作図の方法を用いて，与えられた条件にしたがって作図することができる。 直線や平面の位置関係を記号で表現することができる。 d: 三角形や円の性質について理解し，それらを用いて線分の長さや角の大きさなどを求めることができることを理解している。 作図の意味と方法を理解している。 直線と平面など，空間における位置関係を理解している。	
		作図	○	○	○	○		
		空間の直線，平面	○			○		
		正多面体		○				

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。